

「伝統」と「新風」～生徒と創る学校～

刈谷市立刈谷南中学校長

葉山靖彦



新年度のスタートを祝うかのように桜の花が満開になった4月5日。緊張の面持ちの新入生261名を迎え、全校760名で令和6年度の入学式・始業式を行うことができました。

入学式では、生徒会長が「今、刈谷南中学校には『共創』というキーワードがあります。『新風と伝統』『積極性』を大切にし、私たちと共によりよい刈谷南中を創っていきましょう。(一部抜粋)」と歓迎のことばを新入生に送ってくれました。

刈谷南中学校では、令和4年度に、生徒による「校則見直しプロジェクト(KMP)」を立ち上げ、自分たちの手でよりよい学校を創ろうと、「必要かつ合理的」「相手満足」「清潔感」というキーワードを意識しながら新しいルール作りを行いました。令和5年度は、KMPを校則に限らず「刈南魅力化プロジェクト」として学校生活全般で捉え、安心して過ごせる学校を生徒主体で考えてくれました。3年目となる今年度は、KMPを常設委員会として、南中の伝統である「無言清掃」や体育大会などの学校行事をより意味のあるものにするために動こうとしています。生徒の力でよりよい学校、有意義な学校生活を創り出そうとする姿勢をととても頼もしく感じています。

先輩方から受け継いできた伝統を礎に、その思いをしっかりと受けとめて、生徒の皆さんの力を「新風」として、より魅力的な学校にしていきたいと思えます。

令和6年4月吉日